＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿様

お待たせ致しました。好評のレポートが２年ぶりに完成しました！　ここにビジネスチャンスがあります！！

Advanced Market Report

LCD / FPD 市場戦略年鑑　2005-06　のご案内

●本レポートの類似タイトルのレポートにない特徴

１．FPD の大型用途のみならず、中小型にもスポットライトをあて、生産動向・カラー化動向・サイズ動向をワールドワイド 2010 年まで予測したうえで、各 FPD の需要予測として積み上げる。
２．LCD 業界の収益動向や業界構造の問題点を俯瞰する。

●本レポートのコンテンツと内容

０．Executive Summary

１．FPD / LCD/ CRT のワールドワイド中長期需要予測（2003 年～2010 年）

＜対象ディスプレイ＞TN, STN, color-STN, aSi･TFT, LT-pSi･TFT, HT-pSi･TFT, reflective-LCD,plastic-LCD, PDP, passive-OELD, active-OELD, IELD, VFD, FED, LED, DMD, CRT, Flat CRT
各、⑴市場予測（数量）、⑵市場金額予測、⑶価格予測、⑷用途構成、⑸インチ別予測、⑹カラー化動向、⑺メーカー動向、⑻技術動向、⑼その他重要な事項、等を収録

＜結論と内容＞
・モノクロ STN／単純 TN はほぼ需要が頭打ち。中国への生産シフトが続いている。
・カラーSTN は欧州等での携帯電話などまとまった需要があるが、TFT への代替で需要は漸減傾向となる。
・大型 aSi･TFT はモニターの急増、大型ライン稼働によるテレビの大画面化と大幅な需要増、中小型は携帯電話などで需要が確立。2005 年は 4.2 兆円、2010 年は 6 兆円規模を予測。
・低温 pSi･TFT は高精細携帯電話など新規用途が拡大、2010 年には 8,000 億円市場にまで成長を予測。
・PDP は液晶テレビに押されるも、2010 年には 1.1 兆円市場へ。テレビ組立ラインの中国シフトが活性化し、一気に単価は下落傾向。
・パッシブ OELD は携帯電話サブディスプレイ、オーディオ、MP3 中心の展開。アクティブまでのつなぎ役か。
・アクティブ OELD は 2005 年から本格化。大型登場で 2008 年にはパッシブと売上が逆転を予測。2010 年 8,000 億円市場。
・無機 ELD はユニークな性能を持つが、コスト・輝度・発色性に課題が多く、市場は横這い。
・VFD は安定・成熟局面にある。カーディスプレイ市場等で評価は高く、他デバイスへの代替は漸次的。
・FED は開発が遅れているが、SED 社設立が大きな市場拡大要因となるか。
・CRT はテレビ用、PC 用とも減少傾向。PC モニターでは LCD とポジションが逆転した。

２．FPD / LCD/ CRT のセグメント別競合予測

＜対象セグメント＞①大型（10 インチ以上）：PC モニター、ラージノート PC、テレビ、ノン PC モニター、その他（WP 等）
②中小型：スモールノート PC、PDA・Handheld PC、家庭用 WEB 端末、携帯電話メイン・サブ、簡易型セルラー、ページャー、小型 TV・ポータブル DVD、ビデオカメラ、デジタルスチルカメラ、プロジェクター、AV フロントパネル、リモコン、ポケットゲーム、パチンコ、車載ディスプレイ・ナビゲーション、インパネ表示用、FA/計測機器、メディカル機器、POS/ECR、クロック・ウオッチ、コピーマシン、電卓、他各種
各、⑴ディスプレイ需要、⑵国別・地域別需要、⑶方式別ディスプレイ需要、⑷インチサイズ、⑸カラー化動向、⑹技術動向、⑺ユーザー動向、⑻その他重要な事項、等を収録

∞ Infinite Technologies, 2005

＜結論と内容＞

・PC 用モニターでは TFT が 6,600 万台突破。急速に 17 インチ市場が拡大、20～30 インチの市場も立ち上がった。2008 年には 80%が FPD 化。高精細モニターおよび大型モニターが急増しそうな趨勢である。
・ノート PC はメインストリームが A4、B5 と二極化するもメガノートも増加。2005 年には 5,000 万台市場へ。
・大型テレビは PDP270 万台、LCD840 万台。2010 年には LCD4,200 万台、PDP800 万台のほか、アクティブ OELD および FED の参入でフラットテレビの出荷比率が、全 TV の 36%を占めることになろう、
・モバイル向けは反射型 LCD の搭載が相次いでいるが、PDA では TFT-LCD の搭載が進み、カラーSTN は需要漸減化へ。高精細の低温ポリの需要も喚起されてきており、アクティブ OELD の搭載も期待されている。
・セルラー用は、2005 年に 7 億台市場へ。メインディスプレイは、カラー化が進んでおりカラーSTN から aSi･TFT を主体に高精細な低温 pSi･TFT/CGS の投入が進んでいる。サブディスプレイは STN, aSi･TFT, OELD-pas が拮抗しているが、サブディスプレイを搭載しない新製品もあり、将来性が見えにくい。トータルの携帯電話用ディスプレイ市場は 2010 年に 8 億台を超える。
・AV 関連では高温ポリ採用用途の他は、低温ポリが飛躍的に拡大。デジカメからスタートした OELD-act も期待大か。
・カーディスプレイは、これまでのインパネ内のキャラクター表示部、ナビゲーション、VICS や ETC 表示、カーPC、車載 TV を統合するものとして注目される。統合型車載ディスプレイは 2010 年に 2,300 万台規模、インパネ・コンソール内ディスプレイは 1 億台市場。

3． LCD メーカーの収益動向と競争力分析

＜目次＞ (1) LCD メーカーの売上推移・投資スクリーニング
(2) TFT メーカーの収益動向
(3) TFT メーカーの競争力分析

・サムスン、LG Philips、シャープによる三強時代に突入、この 3 社の競争力・総合力が群を抜いている。躍進を遂げている台湾勢が 3 社にぴったりと追随し、首位の座を伺う構図。
・日本勢も再編を余儀なくされており、東芝松下＋日立、エプソン三洋は台風の目になれるか。さらなる再編を予測。

●発刊内容

＜発刊日＞ 2005 年 7 月 1 日
＜体　裁＞ 基本的に PDF ファイル版（CD-ROM）のみでの供給となります。
＜価　格＞ 特価（7 月 21 日以前のご発注）：100,000 円（税別）
定価（7 月 22 日以降のご発注）：120,000 円（税別）
＜申　込＞ 付属の注文書に必要事項をご記入のうえ E-mail または FAX でご送付下さい。お電話でも結構です。

※『LCD/FPD 部材・需給年鑑　2006』は、2006 年 2 月 1 日頃刊行予定です。別途、ご案内申し上げます。

●内容見本

■世界のディスプレイ市場予測

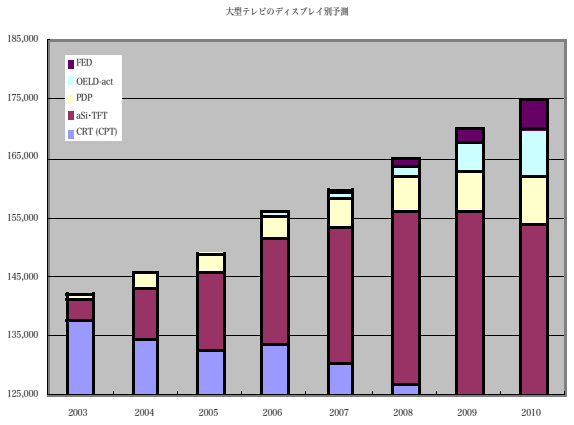
(M Yen)

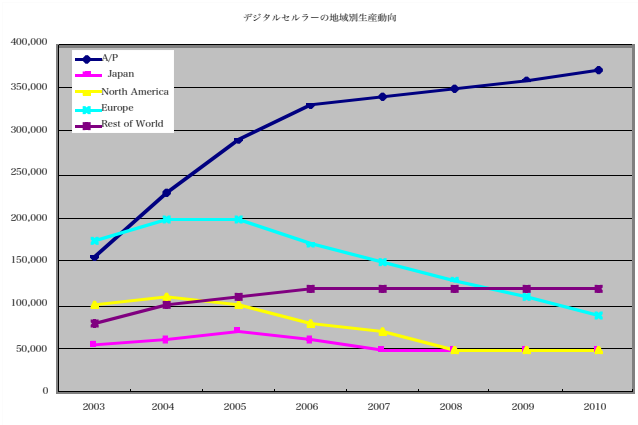
	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	CAGR
単純TN	226,100	217,000	207,400	206,200	205,600		203,900	203,000	-1.5%
STN	600,700	625,700			507,700	413,800	361,800	319,400	-8.6%
Passive Sub Total	826,800	842,700	831,100	783,200	713,300	618,700	565,700	522,400	-6.3%
aSi･TFT, D-TFD	2,961,300		4,219,800	4,447,300				5,098,800	8.1%

■パッシブ OELD 市場予測

(K Units)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	CAGR
通信機器分野									
セルラーメイン	0	300	2,000	5,000	10,000	20,000	30,000	40,000	
セルラーサブ	8,000	16,000			40,000	50,000	55,000	60,000	
Sub Total	8,000	16,300			50,000	70,000	85,000	100,000	43.5%
交通分野									
車載ディスプレイ	0	0	0			200	500	1,000	
インパネ表示	500	1,400	2,200			5,000	6,000	7,000	45.8%
その他	100	200	300			600	800	1,000	
Sub Total	600	1,600	2,500	3,400	4,600	5,800	7,300	9,000	47.2%
Total	11,550	23,600			78,400	107,700		155,100	44.9%
Grand Total	11,550	23,600			78,400	107,700		155,100	44.9%

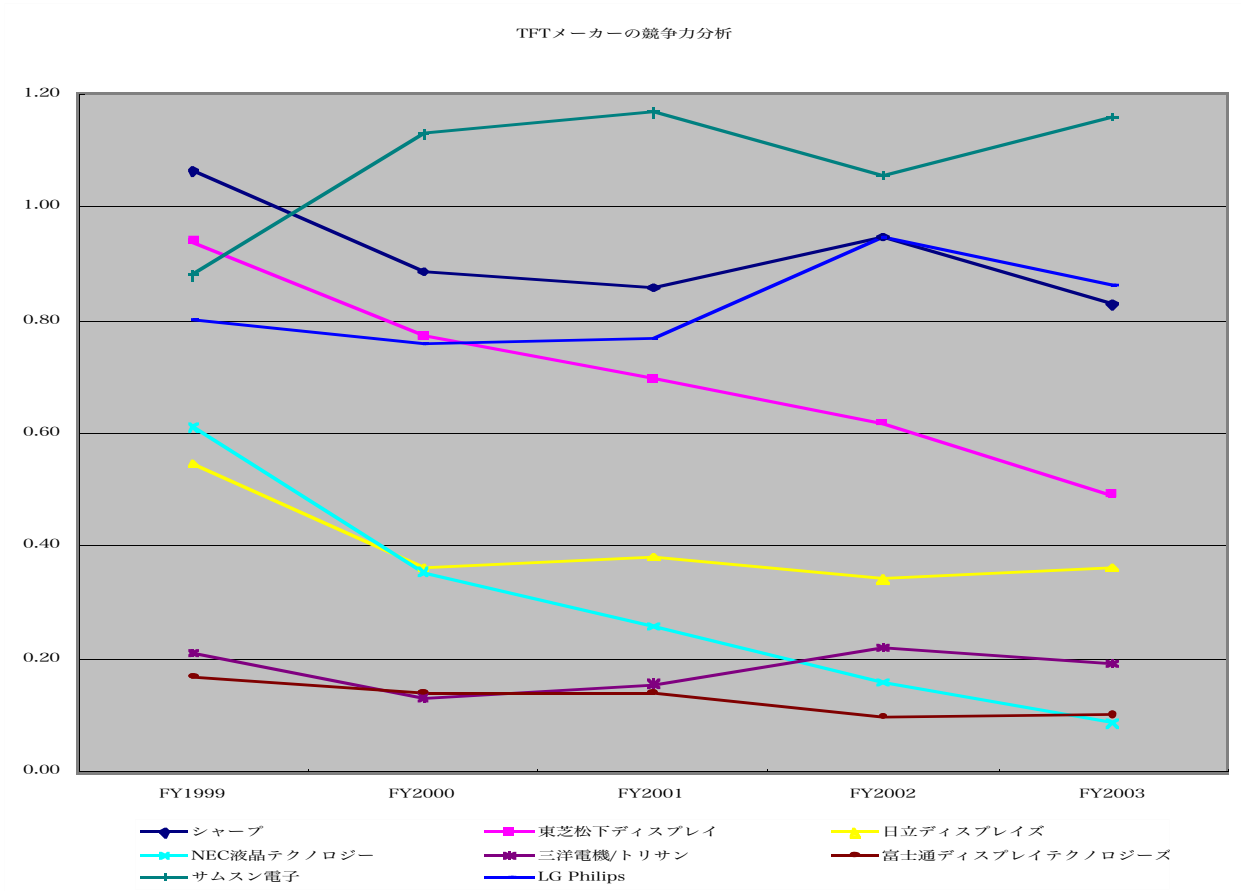




■携帯電話メインディスプレイのカラー化予測

(K Units)

	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	CAGR
STN									
モノクロ	46.5%	28.8%	23.2%	21.4%	17.6%				
フルカラー	31.0%	35.2%	34.9%	31.4%	27.2%				
Total	77.5%	63.9%			44.9%				
aSi･TFT, TFD カラー	18.6%	28.4%			39.7%	46.2%	46.9%	47.6%	
pSi･TFT カラー	3.9%	7.6%			11.8%	13.8%	15.6%	17.5%	
OELD	0.0%	0.0%			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
pas-エリアカラー	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.4%	0.3%	0.0%	0.0%	
pas, act-フルカラー	0.0%	0.0%	0.2%	1.0%	3.2%			17.5%	
Total	0.0%	0.0%	0.5%	1.4%	3.7%			17.5%	
モノ・エリアカラー計	46.5%	28.8%	23.5%	21.9%	18.1%			14.3%	
フルカラー計	53.5%	71.2%	76.5%	78.1%	81.9%			85.7%	
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	



お申し込みまたは問合せ先

（株）インフィニット・テクノロジーズ　　大垣　城治

〒158-0083　東京都世田谷区奥沢 6-5-10-502　　☎ 03-3702-0526　　03-3702-0515

E-mail: george@infinite-tec.com　　会社概要は、http://infinite-tec.com へ！

注　文　書

発注日：2005 年　　月　　日

『LCD / FPD 市場戦略年鑑　2005-06』を以下の通り申し込みます。

貴社名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　部数　PDF 版：　　部

所在地　〒＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

部署名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

ご担当＿＿＿＿＿＿＿＿　☎＿＿＿＿＿＿＿＿FAX＿＿＿＿＿＿＿＿

E-mail＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

∞ Infinite Technologies, 2005